

スカイクロス

特徴

輪投げとゴルフをミックスしたゲームで、布製のリングを使い、ゴルフのようにコースを回ります。リングが柔らかく安全性に優れていることから、子供から高齢者まで一緒に楽しめるスポーツです。屋内・屋外問わずどこでもコースを作ることができます。また、コースもアイデアでいろいろなコースを楽しむことができます。

コート大きさや使用する道具

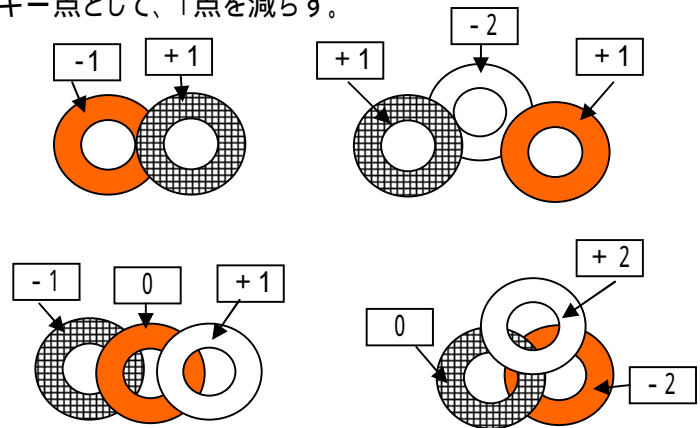
リング：布製で直径30cm 50g

コーン：高さ30cm円錐状のコーンで、市販のカラーコーンでも可



ノルナーの規則(例)

コース上で何人かのリングが重なり合った場合、上になった人にペナルティとして1点が加算され、下の方はラッキー点として、1点を減らす。



ルール・競技規則など

通常は、10人から14人が1組となり、いくつかのコースを回ってスコアの少なさを競う。

各自、スタートラインからリングを目標コーンに向けて投げ、それぞれリングの落花地点まで行き、2投目を投げる。それをくり返し、最終的にコーンに投げ入れた(輪投げ)時点でそのコースは終了とする。

1投目を投げる順番は、スコアの少ない人からとし、2投目以降は、コーンから遠い人から投げる。

投げる場合は、毎回自分の名前と何投目かを必ずコールして行う。

最終的に全コース終了時のスコアが少ない人を勝者とする。

【ノルナーの規則】

コース途中において、何人かのリングが重なった場合、上になった人のスコアにペナルティとして1点(1投分)を加算し、下になった人にラッキー点として1点(1投分)減点する。なお、二人以上が重なった場合、上記の例のように、その状況に応じて加算・減点が行われる。

リングが重なっているかどうかは、静止した状態を真上から見た平面図だけを持って行い、接触の有無は問わない。

後から投げた人のリングが下になる場合もあるが、その場合、結果的に上か下かで判断する。

リングを使ったその他の競技

【おっかけ(旧ノルゾー)】 2～3名でも実施できる

はじめに誰か(親)が、好きなところにリングを投げ、それを目標に他のプレーヤー(子)はそのリングを目標に追いかけてリングを投げる。

子は、3投までに親のリングに重ねなければならない。2投目までに重ねた場合は子の勝ちとし、3投目で引き分け、4等目以上で親の勝ちとなる。そのゲーム終了後、今度は別な人が親となってリングを投げ、他の人はそれを追いかける。

詳しい内容を知りたい場合

日本スカイクロス協会 ホームページ：<http://www.skycross.jp/>